

# 女性の働きやすさ日本ワースト2位

## 英誌ランキング北欧が上位独占

【ロンドン=時事】英誌エコノミストは7日までに、主要29カ国を対象に、2022年の女性の働きやすさのランキングを発表しました。首位は前年2位のアイスランドで、4位までを北欧勢が独占。日本は2016年以降7年連続でワースト2位となり、最下位は韓国でした。

評価対象となった10指標のうち、日本は労働参加率の男女格差の小ささや育児費用の低さなど4指標で平均を上回ったものの、議会や企業取締役の女性比率、賃金や教育の男女格差などで低い評価を受けました。同誌は「日本と韓国では、女性は依然として家庭か仕事の選択を迫られている」と指摘しました。

2~4位はスウェーデン、フィンランド、ノルウェーの順で、同誌は「北欧4カ国は働く女性にとって最高の場所」と評価。ベスト10では、8位のニュージーランドを除き、欧州勢が9カ国を占めました。米国は19位でした。